

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレンドうずら・児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市中鶯7丁目58番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,625,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:2,037.00㎡ ◇延床面積:676.81㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書室、集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障害者センターと合築で事務室ほか共用部分あり		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	22,695	17,353	15,893	17,099	18,997
	移動児童館利用者数	697	690	606	1,161	720
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	12	13	12	16	12
	開館日数(単位:日)	157	152	157	151	157

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長、正規職員(2名)、嘱託職員(1名)。 ③児童センター広報紙・利用者用パンフレットの発行・配布、児童センターホームページ掲載、職員ブログ更新、携帯・スマートフォンHPサイト更新。 ④利用者アンケート結果に基づき改善し、要望に沿えない場合は理由を明確にして回答。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②遊具、玩具の点検・計画的買替え実施。 ③使用していない部屋の消灯、適正室温の設定等、節電を実施。行事材料の不用品・廃品利用等リサイクル・リユースの推進に努めた。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(法人)並びに岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③問題なく履行されている。 「危機管理マニュアル」等の徹底。消防計画作成、避難訓練実施。安全点検を毎月職員が実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年7月10日～7月18日 幼児クラブ参加の保護者にアンケート(無記名)を実施。回答者数131人(回収率76%)
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブに参加して 満足95人(73%)、良かった34人(26%)、その他2人(2%) ○職員の対応 良かった120人(92%)、その他11人(8%) ○意見 内容が充実していた。子どもと一緒に成長できた。同世代の友達ができて良かった。お店屋さんごっこなど子どもに良い体験だと思う。子どもの名前を覚えてもらえてうれしかった。丁寧に対応してもらえてうれしかった。
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・要望 ⇒ 回答 ①幼児室のおもちゃについて 動くおもちゃに電池をいれてほしい ⇒点検は毎日行っています。途中で切れた場合はお申し出ください。 車のおもちゃを増やしてほしい ⇒ミニカーを40台追加しました。 幼児室に衣装がほしい ⇒キャラクターもの、着物を追加しました。 ②設備について 駐車場がもう少しあると良い ⇒これ以上の駐車場の確保はできません。 幼児用のトイレの設置 ⇒岐阜市に要望しております。 外のおもちゃがたくさんあるとよい(砂場スペースなど) ⇒現在のところ設置は検討していません。 絵本がたくさんあるとよい ⇒図書室にも絵本があります。展示の仕方を変え紹介します。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	SS	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	SS	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	A	A
		区分評価			S	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	SS	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>利用者の意見を事業に反映すると共に、利用者が児童館運営に積極的に参加する機会を増やした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からの申出による行事の実施 H23年度前期行事数83回→H24年度前期行事数270回 ・乳幼児の母親の要望が多いテーマ別子育て支援講座の開催 リトミック教室 <p>岐阜県内の他団体との連携を進めた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県木のおもちゃ作家さんによるワークショップ ・岐阜県森林組合さんによる木工教室 ・岐阜県アクアトスタッフによるザリガニ教室 ・岐阜市スポーツ指導員による幼児体操教室 各開催 <p>各取組みが利用者数の増につながった H23年度前期15893人→H24年度前期22000人</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>支援を必要とする児童への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待が疑われる児童への日常的支援とにケース検討会に参加し情報を積極的に提供 2ケース ・不登校児童の受け入れと学校、親との連絡体制強化 1ケース ・障がい児の受け入れと支援内容の検討及び学校、親との連絡体制強化 2ケース ・発達障がい疑われる乳幼児の保護者の相談と子育て支援事業への参加と経過観察 2ケース
今後の取組み	<p>体制の整備</p> <p>予算、職員数に限りがある中、児童センター事業をより発展させるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親クラブ、保護者、大学生、社会人等のボランティアの協力 ・公共施設、NPO、サークルとの連携 <p>に力を入れ、児童センター事業の充実と地域の子育て力向上により貢献できる体制を整えていく。</p> <p>子ども委員会の創設</p> <p>これまでの取組みの上に小学生～高校生の子ども委員会を年間を通して設置し、より子どもたちの声が活動に反映できるようにする。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたより配布やホームページ掲載等の他、職員ブログの更新、携帯・スマートフォンHPサイトを設けるなど、広範囲の広報活動とサービス向上に努めた。</p> <p>登録制幼児クラブを週8回開催するほか保護者からの希望が多かった幼児向け体操教室を2回開催するなど、利用者のニーズに応えた。子育て支援講座、中学生と乳幼児の交流事業、育児相談など幅広い対象に多彩な子育て支援事業を実施。</p> <p>児童自らイベントを企画・運営し、主体的な活動ができるよう支援。配慮を要する子どもに対し、行事やボランティア活動に関わる機会を設けるほか相談事業を積極的に実施し、きめ細かな対応を行った。</p> <p>来館利用者数(児童館担当地区の人口増減率で補正後)の実績127.9%(対前指定期間比)のため、「利用促進、利用者増の方策」をS評価とする。</p> <p>事業計画に基づく事業は計画どおり実施した。職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。</p> <p>障害者センターとの合築を生かし、障がい者と児童の交流事業を行った。</p> <p>地元の関係機関との交流や地域の行事に積極的に参加、支援、連携し、地域に貢献した。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>事業計画書どおり適正に管理運営されており、良好と認められる。</p> <p>なお、広報の方策として、岐阜市の子育て支援サイトである「ぶりがネット」の活用も検討していただきたい。</p>
